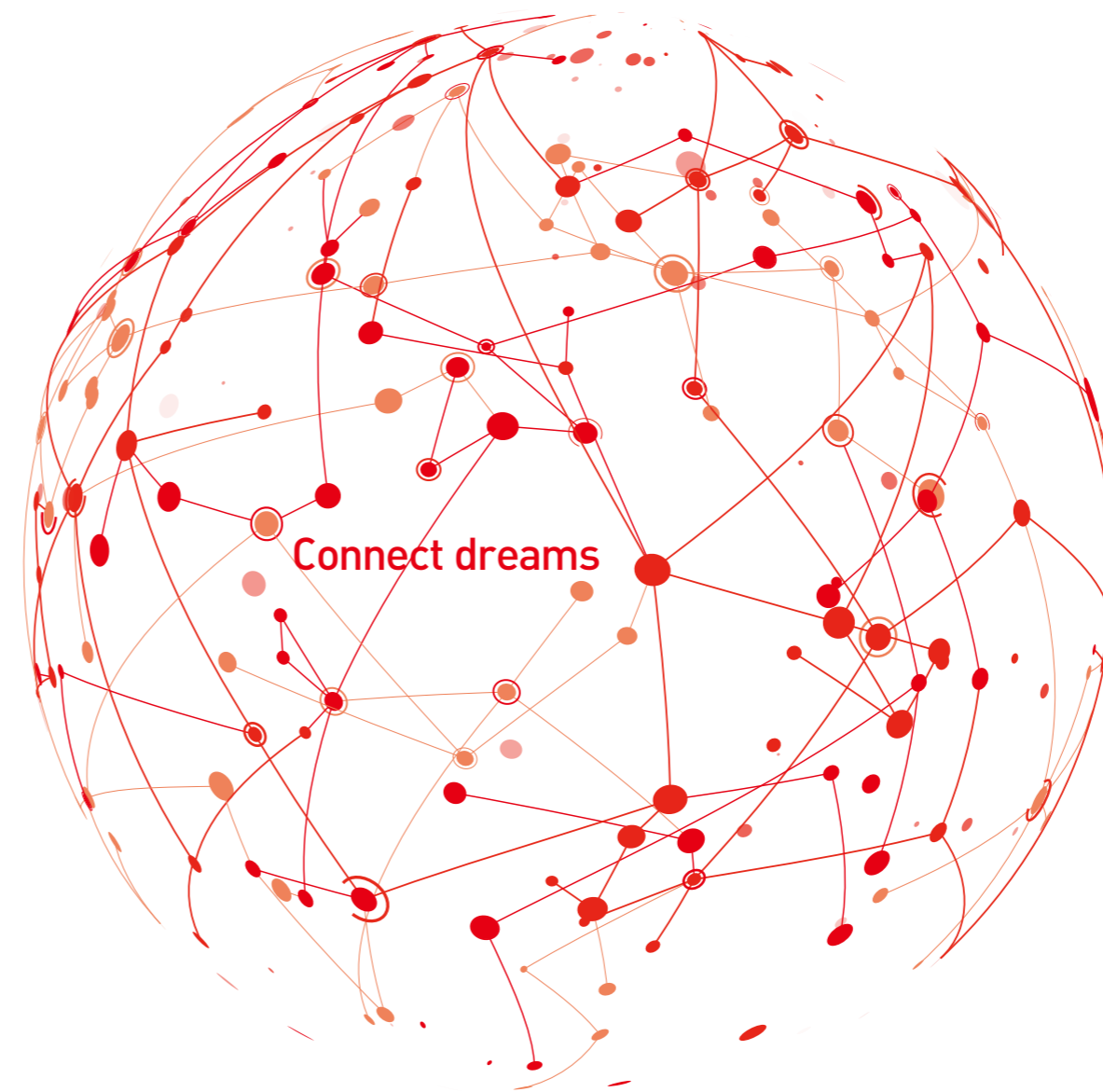


会社案内

COMPANY PROFILE



ニッコンホールディングスグループ

基本理念

我々は、地球的視野に立ちビジネスロジスティクスを介し

共有できる喜び 共感し得る価値 共生したる環境

を先進創造し

お客様・株主様・従業員と共に社会の繁栄に貢献する

ニッコンホールディングスグループは
物流サービスを通じ、
国家・地域・社会に貢献いたします。

ニッコングループは、1953年の会社創立以来、何よりも誠実な仕事によって信頼を得るとい精神を受け継ぎ、常にお客様とともに考え、価値ある物流を自らの手で自らの経験により創造することで、事業を発展させてまいりました。

2015年には持株会社体制に移行し、社名を「ニッコンホールディングス株式会社」として、グループ会社70社を超える強固なネットワークにより、真の総合一貫物流サービスを提供し、企業の物流を支え続けております。

いま、私たちの生活や経済・社会の営みが、地球環境に危機をもたらしており、物流業界では「CO2排出などの環境問題」「2024年問題を含めた労働問題」「交通安全」など多くの社会的な課題に直面しています。そうした社会の変化に真摯に向き合い、未来に向けて、社会的課題に対処することなしには、企業の持続的成長はありません。ニッコングループは、これらESGへの対応を経営上の最重要課題として捉え、「サステナビリティ委員会」を通じて、経営層がESG活動へ直接関与することとしております。お客様のサプライチェーンの変革を支え、環境に配慮した生産性の向上や循環型社会への対応、付加価値を提供していくことこそが使命であると考え、次世代に向けたサステナブルな成長を実現して参ります。

ニッコングループは「地球的視野に立ちビジネスロジスティクスを介し、社会の繁栄に貢献する」というグループ理念のもと、すべての人の喜びのために、物配り、気配り、心配りの精神で、豊かな未来に向けて、物流インフラの構築を通して持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

代表取締役社長

恩岩正雄

「自前主義」による**総合一貫物流**

ニッコンホールディングスグループは、1953年に「株式会社日本梱包運搬社」として創業以来、梱包・運輸業・倉庫事業、特殊車両の開発等において最前線に立ち、高品質で安定した総合一貫物流サービスを展開してきました。

梱包・運輸・倉庫の主要事業と、その周辺機能・リソースを、自前(関係子会社)で保有し「手の内管理」を実現しています。

生業である物流業を中心とした事業展開を図り、社会へ貢献することにより次世代へ続く事業運営を進めます。





グローバルネットワークで 世界中に新たな価値を

ニッコンホールディングスグループには、国内外に多くの拠点があります。地域密着や専門分野への特化など、特色あるグループ会社による幅広い事業領域と、充実した車両・設備による質の高いサービスを、世界中のお客様にご提供しています。また、グループ全体の約45%が海外スタッフであり、拡大し続けるグローバル市場において成長を続けています。

国内 事業拠点

関係会社
47社
(2023年12月時点)

 従業員数
11,698名

 保有車両台数
3,789台

 倉庫延面積
2,012,078㎡

商号 ニッコンホールディングス株式会社
NIKKON Holdings Co., Ltd.

本社 東京都中央区明石町6番17号

創立 1953年8月27日

資本金 113億1661万円

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

総合物流

- 日本梱包運輸倉庫(株)
 - 子会社 ● (株)ニッコン北物 ● (株)ニッコンロジスティクス
 - (株)ニッコン松山 ● (株)ニッコン東北
 - 狭山日梱(株) ● 小川日梱(株)
 - 藤沢日梱(株) ● 新潟日梱(株)
 - 松本日梱(株) ● 鈴鹿日梱(株)
 - 群馬日梱(株) ● 仙台日梱(株)
 - 千葉日梱(株) ● 金沢日梱(株)
 - 名古屋日梱(株)
- (株)日本陸送
- 日本運輸(株)
 - 子会社 ● (株)太田国際貨物ターミナル(OICT)(航空・海上貨物取扱事業)
- (株)メイコン
- (株)イトー急行
 - 子会社 ● (株)イトー自動車整備 ● 瀬戸自動車運送(株)
- 中越テック(株)
 - 子会社 ● 札幌新聞輸送(株) ● 中越輸送(株)
- (株)ニッコン九州 ● 菱自運輸(株)
- (株)中国物流サービス ● (株)松久総合 ● (株)ニッコン北九

国内・海外 連結業績

売上高	2,121億円
営業利益	196億円
営業利益率	9.2%
ROE	7.1%
<small>(2023年 3月期実績)</small>	

輸送

- トランスポートジャパン(株)
(第一種貨物利用運送事業)

テスト

- (株)オートテックジャパン
- (株)テクニクサービス

人材

- (株)オートテック(人材派遣・業務請負・梱包資材販売)
- (株)テクニカルニッポン
(人材派遣・業務請負・資材販売、施行)

その他事業

- エヌケイエンジニアリング(株)(機械整備組立・解体・据付)
- (株)セフテック(自動車整備)
- NKインターナショナル(株)(フォワーディング)
- ニッコンムービング(株)(事務所移転・引越し)
- ニッコン情報システム(株)(情報システム開発)
- GINZAコンサルティング(株)(コンサルタント)
- 築地リアルエステート(株)(不動産仲介・不動産コンサルタント)
- (株)エムピー(段ボール製品の加工及び販売)
- 古河環境サービス(株)
(公共ゴミの収集サービス、一般並びに産業廃棄物の収集運搬)

関連会社

- 日本陸送(株)
- S&Nロジスティクス(株)

海外 事業拠点

関係会社
9カ国 29社
(2023年3月時点)

 従業員数
8,545名

 保有車両台数
760台

 倉庫延面積
492,841㎡

- インド** 2011年～
- NIPPON KONPO INDIA PRIVATE LTD.
 - KOLAR LOGISTICS AGENT PRIVATE LTD.
 - TAPUKARA LOGISTICS AGENT PRIVATE LTD.

- 中国** 1994年～
- 日梱物流(中国)有限公司
 - 富田-日梱儲運(広州)有限公司
 - 広州東風日梱物流有限公司
 - 日梱重慶物流有限公司

- ベトナム** 2006年～
- NIPPON KONPO VIETNAM CO., LTD.
 - NKV LOGISTICS LTD.
 - NIPPON KONPO HOCHIMINH INC.
 - NIPPON KONPO VIETNAM REAL ESTATE CO., LTD.

- メキシコ** 2011年～
- NKP MEXICO, S.A. de C.V.
 - NK LOGISTICA MEXICO, S.A. de C.V.

- マレーシア** 2015年～
- NIPPON KONPO (MALAYSIA) SDN. BHD.
 - NKM LOGISTICS SDN. BHD.

- フィリピン** 2000年～
- NIPPON KONPO PHILIPPINES INC.

- タイ** 1994年～
- NIPPON KONPO (THAILAND) CO., LTD.
 - A.N.I. LOGISTICS, LTD.
 - A.N.I. TRANSPORT, LTD.
 - SIAM AUTO TECHNIC CO., LTD.

- インドネシア** 2002年～
- PT.NIPPON KONPO INDONESIA
 - PT.NK INDO LOGISTIK
 - PT.NKI GUDANG KEMAS

- アメリカ** 1987年～
- NK PARTS INDUSTRIES, INC.
 - NK AMERICA, INC.
 - NKA TRANSPORTATION, INC.
 - NKA LOGISTICS, INC.
 - NKA CUSTOMS SERVICE, INC.
 - AUTO TECHNIC AMERICAS, INC.

ロジスティクスの先駆者として 社会の持続的な発展への貢献

ESGへの対応を経営上の最重要課題として組織的対応を強化するため、「ESG推進室」を設置しております。
 加えて「サステナビリティ委員会」を設置し、経営層がESG活動へ直接関与し、定期的に取り締役に報告を行い、
 より実効性の高い活動を推進することを目的とした新体制を整備しました。主要8社を中心としてグループ全社で横断的に活動し、
 企業価値の向上、社会の持続的な発展に貢献してまいります。

Environment 環境

取り組み内容

☑ 太陽光発電設備の設置

太陽光発電設備を全国15ヶ所の倉庫等に設置し、事業活動に活用するだけでなく、クリーンな再生可能エネルギーを増やし地球温暖化防止に取り組んでいます。

(株)オートテックジャパン栃木開発センター



☑ 31ft JR私有コンテナ(モーダルシフト)

1989年より31ft私有コンテナ輸送を行っています。トラック輸送との比較でCO2排出量は1/13となり、トラックドライバーの負荷も軽減しています。



☑ 環境配慮型21mフルトレーラー導入

2014年より日本初となる箱型21mフルトレーラーの運行を開始。グループ全体で100セットを導入し、ドライバー不足解消のための省人化・CO2削減に貢献しています。



健全な事業活動を通じた『地球環境の保存と維持』を社会的責任と考え、環境と調和した社会を実現するよう、継続的な環境活動に取り組みます。

☑ 営業車両の燃費向上

中核事業会社では、2004年より「デジタルタコグラフ」を営業車両全車に導入し、データ分析・ドライバーへのエコドライブ教育を強化し、燃費向上に継続的に取り組んでいます。

☑ ハイブリッド車両の導入

Key word

- ▶ 輸送効率向上によるCO2削減
- ▶ CO2排出抑制
- ▶ エコドライブ推進・定着
- ▶ 再生可能エネルギーへの転換



Social 社会

取り組み内容

☑ ANS(All Nikkon Safety)

安全最優先を基本とする事業活動を行っていくという方針のもと、安全意識の向上と交通事故防止の推進を目的にANS全国運転技能競技会を開催しています。



☑ 交通・労災事故防止活動

☑ 女性役職者割合増加

☑ 障がい者雇用率向上

☑ 定期健康診断完全受診



Key word

- ▶ 交通の安全性向上
- ▶ ジェンダー平等
- ▶ ダイバーシティ&インクルージョン
- ▶ 働きやすい労働環境整備



Governance ガバナンス

取り組み内容

☑ コンプライアンスの実践と定着

☑ 「コンプライアンス推進委員会」「リスク管理委員会」を設置

☑ 監査等委員・監査等委員会による監査体制

☑ 内部統制システム体制の整備・維持

経営の健全性・順法性・迅速性を常に意識し、適切なリスク管理を通じ、持続的な企業価値の向上を図り、全てのステークホルダーと継続的な信頼関係を築いていきます。

Key word

- ▶ 法令遵守
- ▶ 経営監視機能の強化
- ▶ 公平性・透明性の強化
- ▶ 情報セキュリティ



いままでも、これからも、 社会とともに

数々の特殊車両の開発やサービス導入など、時代のニーズとともに歩んでまいりました。
 これからも社会とともに、新たな価値を創造し続けてまいります。

1950
1960
1970
1980
1990
2000
2010
2020

1953年 8月 株式会社日本梱包運搬社 設立創業
創業者：黒岩恒雄

1957年 二段車(マンモス)導入
特殊車両開発スタート

1968年10月 社名変更
株式会社日本梱包運搬社
→日本梱包運輸倉庫株式会社

1970年 8月 東京証券取引所 第二部上場

1987年12月 アメリカ現地法人 設立

1988年 5月 アメリカ現地法人 本格稼働

1989年 6月 社長交代 創業者 黒岩恒雄から黒岩秀隆へ

1994年 3月 中国現地法人 設立

1994年11月 タイ現地法人 設立

1997年 9月 東京証券取引所第一部に指定替え

2003年 8月 創立50周年

2006年10月 本社新社屋 竣工

2009年 6月 社長交代 黒岩秀隆から黒岩正勝へ

2014年 2月 次世代環境型新規格
21mフルトレーラー運行開始

2015年10月 純粋持株会社化
これに伴い社名を
「ニッコンホールディングス株式会社」に変更

2018年 2月 中核事業会社(日本梱包運輸倉庫株式会社)
において23mフルトレーラー埼玉県狭山市
⇨三重県鈴鹿市間で運行開始

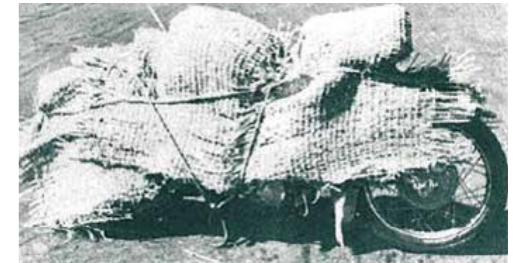
2020年 4月 新輸送システム構築による
混載貨物事業を本格稼働
ハイブリッドトラック導入

2020年12月 中核事業会社(日本梱包運輸倉庫株式会社)において
棚流動型の倉庫ロボット(Ranger GTP)を導入

2021年 9月 国立大学法人一橋大学商学部にて寄附講義を開講

2022年 2月 株式会社セレッソ大阪とのトップパートナー契約を締結

2022年 3月 株式会社安川トランスポートを買収により子会社化
商号を「株式会社ニッコン北九」に変更



創業当時の梱包荷姿：藁を使用しオートバイを梱包



日本で初めてアンダーフロア車を二段車に改造。
ホンダのドリーム号を28台積載「マンモス」



本社新社屋



23mフルトレーラー



ハイブリッド2tトラック